

マネージャーレポート

23年10月29日に令和5年度新人戦第2支部大会1回戦目 vs 都立拝島高校との試合を行い、91-66で勝利することが出来ました。

都立拝島高校はゴール下のシュートがよく入るチームでした。また速攻や、中にパスを入れるときの確なパス出しができていました。少し緩いパスが通るとすぐに気づき、パスカットをしてることが多々ありました。本校もほんの少しの緩みを見逃さずにディフェンスできるようにしていきたいです。

本校は、出だしから試合の流れを持っていくことが出来ました。

スリーポイントがよく入り、ベンチや観客席の盛り上がりによってよりスリーポイントの確率が上がったと思います。

また、ディフェンス面ではスティールをする場面が多々ありました。

ですが、コミュニケーション不足からパスに気づかなかったことやパスの距離が上手く合わせられずターンオーバーした場面もありました。

それによって相手に速攻を許してしまい、点数差を縮められました。

ディフェンス面でスティールができた場面もありましたが、ディフェンスとオフェンスの距離が離れていて簡単に抜かれてしまいそうになることもありました。スリーポイントを警戒していたので、チェックに入れたことが多かったです。今後の試合でも続けていきたいです。

上手いいかない場面もありましたが、そんな時にシュートが入ったらベンチの観客席の盛り上がりで持ちこたえることが出来ました。

コート横から応援があると選手の活力にも繋がっていいプレーがよく見受けられます。

本校の魅力でもある盛り上がる応援をこれからも続けていって残りの試合も勝ち進んでいきたいです。



